

チビチリがマ見学で分かった事

渡慶次小学校 六年 宮城 めい

私は、平和とは、争いがなく、世界のみんなが笑顔で仲良く暮らすことだと思います。

沖縄では、今から八十年前に沖縄戦がありました。沖縄戦については、去年の講師の方から話を聞いたことがあります。沖縄戦では私のひいおばあちゃんが一年生くらいのに体験していて、シムクガマにひなんしていたそうです。食べる物も少なく、カエルや虫を食べていたそうです。戦争の話を聞いて、戦争はともこわいなと思いました。

学校でも、平和教育があり、戦争について学びました。チビチリがマ見学では、小橋川さんの話を聞きました。チビチリがマ見学で学んだことは、チビチリがマには、約百四十名がひなんしていて、85名がなくなっていました。たそうです。その中でも、2名の人には、手榴弾でなくなっていました。83名は集団自決でなくなりました。その理由は、まちが

った教育を受けていたからだそうです。シム
クがマには、約千人の人がひなんして、
その約千人を保護したそうです。このとき、
集団自決をした人は、いなかったそうです。
現代の日本は、戦争はありません。しかし、
海外では、ウクライナとロシアが戦争してい
るのをニュースで見ました。たくさんの人が
なくなっているそうです。

戦争があると、たくさんの人がなくなっ
て、たくさんの人が苦しむと思います。

戦争のない世の中にするためには、世界中
のみんなが戦争のことについて学んで、戦争
がどれだけつらいのかを知って、いけばいいと
思います。また、世界中のみんなが仲良く暮
らしていけばいいと思います。

私たちが今できることは、今のうちにひい
おばあちゃんや、ひいおじいちゃんに戦争の
こわさなどいろいろなことを聞いて、いって、
まだ、戦争のことが分からない人、自分の弟
や妹に教えて、戦争を体験した人がいなくな

っ
ても、この戦争のことを伝えていけたらいい
なと思います。そして、私も戦争のことを
考えていきたいです。